

1 耐震評定 専門委員会用 提出図書作成要領

以下の項目について、簡易ファイルに製本してください。

別表 - 1.	耐震診断結果概要書	※別表番号はページを表しているので、 ページ毎に番号を進めてください。
別表 - 2.	代表的な伏図・軸組図	
別表 - 3.	耐震改修計画概要書	
別表 - 4.	補強位置図	

1 建物概要	1-1.	一般事項
	1-2.	案内図
	1-3.	全景写真
	1-4.	平面図
	1-5.	立面図
	1-6.	断面図
	1-7.	構造伏図
	1-8.	構造軸組図
	1-9.	部材リスト等
2 建物調査結果	2-1.	建物調査結果概要
	2-2.	構造部材断面調査
	2-3.	外観履歴調査
	2-4.	コンクリート強度等調査
3 耐震診断結果	3-1.	診断方法
	3-2.	建物の重量
	3-3.	T指標
	3-4.	S_D 指標
	3-5.	診断結果表
	3-6.	破壊モード図
	3-7.	$C_T - F$ グラフ
	3-8.	I_S 値の決定
	3-9.	検討事項
	3-10.	診断の所見
4 補強設計	4-1.	補強方針
	4-2.	補強後建物の重量
	4-3.	補強後 S_D 指標
	4-4.	補強後診断結果表
	4-4-1.	補強後診断結果表
	4-4-2.	補強後診断結果の考察
	4-5.	補強後破壊モード図
	4-6.	補強後 $C_T - F$ グラフ
	4-7.	補強後 I_S 値の決定
	4-8.	補強部材の設計
4-9.	補強設計図	
4-10.	総合所見	

2 耐震評定 報告委員会用資料について

専門委員会資料(最新の指摘事項回答書を含む)と同じ構成にしてください。

必要な資料と部数

PDFデータ(大容量ファイルメール等でお送りください) × 1部

PDFデータ作成時のお願い

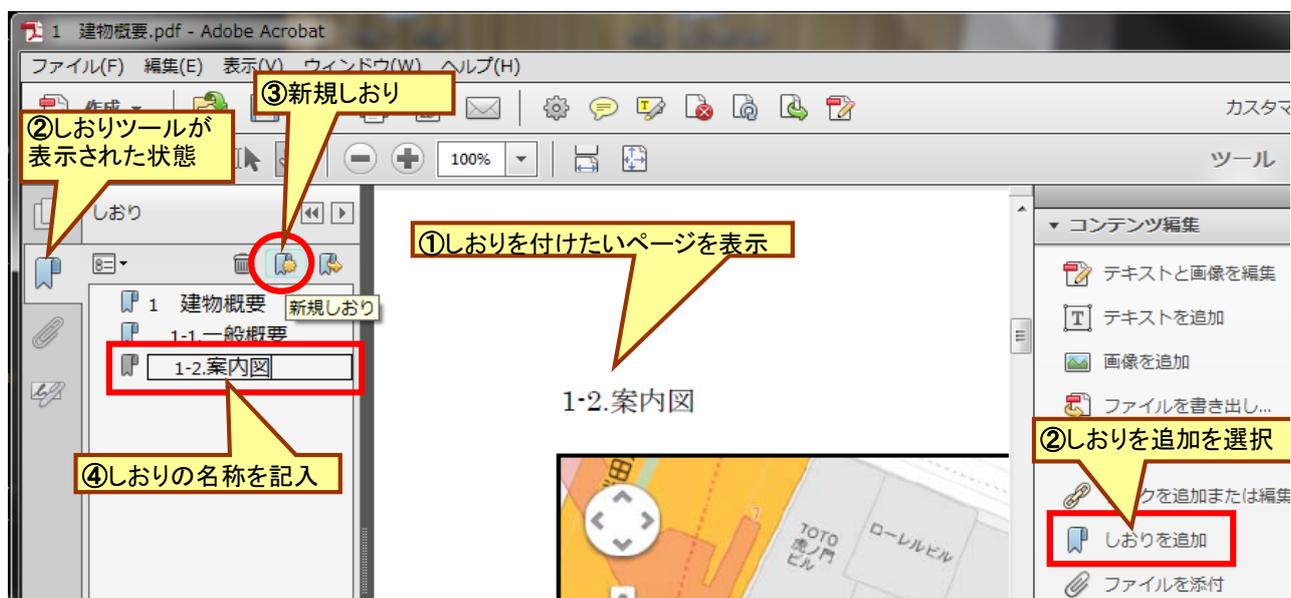
- ① 必ず【しおり】を作成してください。※下記、しおり作成方法を参照
- ② A3判等の横書きのページは、すべて「横向き」で表示されるように、回転させてください。

PDFしおり作成方法

【AdobeAcrobat しおり作成方法】

下図の要領で、「しおり」を作成してください。

- ① しおりを付けたいページを画面に表示
- ② 「ツール」から「しおりを追加」を選択肢、しおりツールを表示する
- ③ しおりツールから、「新規しおり」をクリックして、しおりを追加する
- ④ 追加されたしおりに名称を記入、Enterで決定するとしおりが完成する



3 最終保存図書の編集（編集例）

2023年度4月受付分より、事務局宛電子図書データのご提出を不要と致します、申請者様・設計者様用の図書が必要な場合のみ、下記の通りご用意をお願い致します。

3.1 図書が必要な場合（申請者様・設計者様用）

フォーマットは、特に定めていません。内容が判るようにまとめて頂ければ結構です。

※ 最終保存図書は【必要部数 or 電子データ】を作成し、評定書交付後、2週間程度でご提出ください。

（申請者様保管用 1部 + 関係者への配布用・・・等、必要な部数のみ）

※ 製本方法は、「簡易製本」をしてください。

ページの差替えができない方法であれば製本方法は問いませんが、長期間の保管となるかと存じますので、表紙・裏表紙は補強してください。

※ PDFデータの場合は、大容量ファイルメール等でお送りください。

目次（例）

表紙

（評価番号、件名、耐震診断（又は改修など）報告書、評定書交付年月日、申請者名、設計者名

耐震評定書（写し）・概要書（写し）

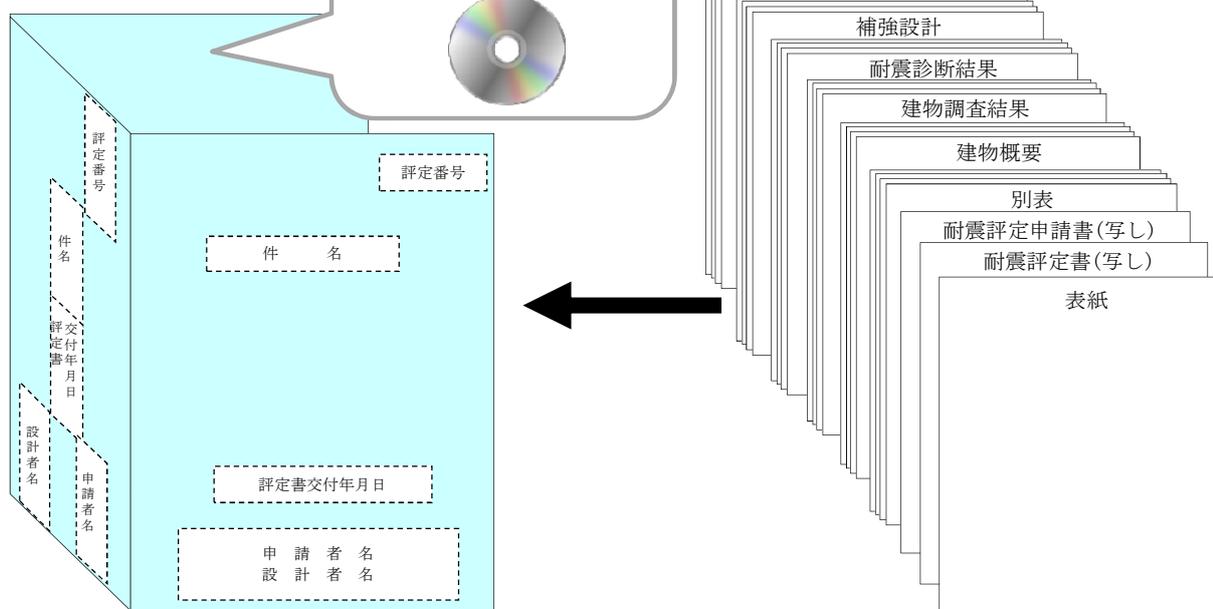
耐震評定申請書（写し）

別表-1～4

1. 建物概要
2. 建物調査結果
3. 耐震診断結果
4. 補強設計
5. その他の検討
 - 5-1. 指摘事項回答書
 - 5-2. 別添資料
 - ※CD-Rで最終頁に添付でもかまいません。
 - 5-2-1. 現地調査報告書（必要があれば）
 - 5-2-2. 電算出力資料

資料の無いNOは、繰り上げとしてください。

「電算出力資料」等は、CD-Rで、最終頁に添付でもかまいません



3.2 図書が不要な場合（申請者様・設計者様用）

申請者様・設計者様用図書が不要の場合は、最終保存図書作成は不要です。

※事務局用保存データは、弊社にて「本委員会時の電子データ」+「評定書（写し）」を保存いたします。